

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年2月20日

【評価実施概要】

事業所番号	1270901885		
法人名	医療法人 沖縄徳洲会		
事業所名	グループホーム「なしの郷」		
所在地	千葉県船橋市大穴北7-22-2 (電話) 047-456-7410		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	2007/2/16	評価確定日	2007/4/30

【情報提供票より】(平成19年2月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤3人、非常勤15人、常勤換算14.7人	

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り		
	2階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	16,800 円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	450 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	0 名	女性	18 名
要介護1	2	要介護2	3		
要介護3	9	要介護4	3		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 83.6 歳	最低	74 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	沖縄徳洲会千葉徳洲会病院 ・ 新木戸歯科クリニック
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が経営母体となっており、また、隣接して病院があるなど「安心」の提供という点では申し分ない。
施設が新しいこともあり、明るく開放的で快適な環境を提供している。
導入路の看板も見やすい位置にあり来訪者への配慮もされている。施設の周りには小さいながらも利用者が自由に耕作できる畑があり、収穫した野菜が食卓に上るなど季節感を感じる配慮がされている。利用者の目線を大事にしており、利用者家族アンケートでも大きな不満は見受けられなかった。
穏やかに時間が流れているといった感じで、利用者に「安心」と「安らぎ」を提供している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	評価での改善課題については、全職員が認識し資質の向上に努めている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 現状を再認識することにより、今後の運営及びサービスの質の向上を目指す取り組みを実施している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 現在、運営推進会議は行っていないが平成19年3月から開催する予定である。構成員は入居家族、地元民生委員、自治会、職員の代表市役所職員であり、まずはグループホーム業務に対する理解を深めることを目的としている。その後、構成員の意見をいただきながら資質の向上につなげていく姿勢である。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 苦情相談窓口の設置や満足度調査により、家族の相談、意見を受け付けている。また、家族の来所時に入居者の状況報告を含めてコミュニケーションを図っている。来所できない場合は電話や文書で行っている。その中で出た、相談、意見を受けとめ業務運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 市内のグループホームと市役所職員を構成員とした連絡会を定期的に開催し、情報、意見交換を行うことにより、資質の向上に努めている。また、消防署の指導を受けながら防災対策及び防災体制を整備している。地域とのつきあいについては、隣接している老人保健施設と合同で感謝祭を開催し、地域の方々を招待したり、その他外部の催し物等にできる限り参加するなど交流を深めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「命だけは平等」・「愛」という理念を中心として人間らしさ、人権尊重、個別ケアの重要性を掲げている。地域の民生委員、ボランティアとの交流もあり地域との関係も大切にしている。		独自の理念をしっかりと持っているので今後も大切にしていきたい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員が日常的に理念を見ながら唱和を行い、実践に取り組んでいる。		理念を現場に浸透させ、さらなるサービスの質の向上を期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域での催し物等に可能な限り参加している。年1回隣接している老人保健施設と合同で感謝祭を開催し、地域の方々を招待し交流を深めている。		地域との交流が、入居者の生活の活性化につながっているため、今後も交流の維持・拡大が望まれます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	主な改善点については玄関の鍵の工夫であり、入浴時は職員の目が行き届かないこともあるため、施錠しているが、それ以外は行動チェック表等の活用により施錠しない生活を確保している。		評価結果が常に閲覧できる状態になっていることが、職員の意識の向上につながっていると思われるため、今後も継続していただきたい。

グループホームなしの郷【千葉県】

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>第1回運営推進会議を平成19年3月に予定している。入居者、家族、地元民生委員、自治会、職員の代表及び市役所職員を構成員とし、まずはグループホーム業務の理解を深めていく。その後、構成員の方々がいつでも訪問できる環境をつくりご意見をいただきながら質の向上につなげていきたいと考えている。</p>		<p>今後の会議実施により、より多くの方の意見をサービス向上につなげていただきたい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>1年前より市内14ヶ所のグループ連絡会を立ち上げ、高齢者福祉課の職員も参加し定期的に会合をもち、情報、意見交換を行っている。また、その中で認知症の研修会を増やすことにより質の向上につなげる活動も試みている。その他、消防署の職員による指導を受け防災対策及び体制を整備している。</p>		<p>今後も連携を継続し、サービスの質の向上に努めていただきたい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来所時に合わせて報告を行っている。来所できない場合は電話や文書で報告している。</p>		<p>ほとんどの家族は報告を受けているが、報告を受けていない家族もいるようなので、報告手段の見直しが必要ではないかと考えます。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口を設け各管理者が窓口となって相談や意見を受け付けている。また、満足度調査も行い、業務運営に反映させている。</p>		<p>ほとんどの家族がサービスに対して満足しているとの評価をしています。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>原則として職員の異動は行わず馴染みのスタッフが支援している。退職により職員の入れ替えがあったときも利用者及び職員に対する環境変化の影響を最小限にする努力をしている。</p>		<p>職員の異動・退職については家族も不安を感じているので、安心できる対応が望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修については外部内部ともに積極的に行っている。特に内部研修に力を入れており、医療分野を中心とし各項目ごとに随時行っている。		定期的な研修を継続し、サービスの質の向上につなげていただきたい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	特定のグループホームと見学や研修を兼ねた交流会を実施している。また、グループホーム協会主催の交流会にも参加し、資質の向上に努めている。		定期的な交流を継続し、サービスの質の向上につなげていただきたい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お試し入居を実施し、施設の雰囲気を味わっていただいている。また、1人での入居が不安な方には家族もいっしょに宿泊していただく工夫をしている。その中で家庭の延長という考えを大切に、家族からの情報及び利用者の行動観察を通して環境の変化に留意しながら柔軟に対応している。		サービスの導入については、ほとんどの家族が満足しているので、今後も柔軟な対応を継続していただきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者を介護される人と捉えるのではなく、共に暮らす人と捉え共存の関係を築き、家族以上の家族になるという理念を大切にしながら支援している。		生活の雰囲気はとても和やかで好感がもてる。入居者と職員が一体化しています。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の意向、状況、生活歴及び家族の意向 しっかり把握しながら検討している。</p>		<p>家族も本人及び家族の気持ちを理解してくれているとの評価をしています。家族アンケートでも高い満足度が現れています。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が安心して暮らすためのケアについて定期的にカンファレンスを行い、介護計画を作成し家族の同意を得ている。</p>		<p>施設としては十分な対応をしており、家族も満足している。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1ヶ月に1回モニタリングを実施し見直し及び評価を行っている。また、介護計画に対応できない変化が生じた場合は直ちに再アセスメントを行い、変化の状況を家族に説明し適切な計画を作成している。</p>		<p>施設としては十分な対応をしており、家族も満足している。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制を整備し病院及び歯科受診（往診）が円滑にできるようになっている。また、車両での外出会や通院介助も行っている。</p>		<p>医療連携体制がしっかりしており、家族も安心しています。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>往診を導入し、必要に応じ適切な医療が受けられる。</p>		<p>入居者及び家族の安心が確保されています。</p>
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合の対応に係わる指針を作成し家族の同意を得ている。看護師が医師、医療機関と24時間体制で連携をとっている。</p>		<p>家族を含めたチームケアがしっかり行なわれており、家族も安心しています。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者に対し、人格を重視しその方の過去や経歴などを踏まえ、対応している。記録や個人情報は事務所内の施錠できる書庫に保管されている。</p>		<p>外部の方の訪問受付簿が誰でも閲覧できる状態になってるので、個人情報保護の観点から改善したほうが良いと思います。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員や施設の都合が優先される場面はない。余暇の過ごし方や食事も入居者の希望が反映されている。</p>		<p>家族に対して入居者の生活の実情をより細かく報告し、理解を得たほうが良いのではないかと思います。</p>

グループホームなしの郷【千葉県】

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嗜好を把握し、適切な献立作りを心がけている。また、季節や行事に合わせた献立も考え楽しくおいしく食べれる工夫をしている。個々の状況に応じながら食事の準備、片付けを共同で行っている。		栄養の偏りが心配との声もあるので、献立については再検討する必要が感じられます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望に合わせて入浴の頻度や時間を決めている。		入居者の意思の尊重がしっかりなされている。今後もその姿勢を継続していただきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の趣味や得意な分野で役割を活かした日常生活が送れるように支援している。また、個々の作品(油絵、手芸、書道等)を施設内に掲示しみんなで楽しめる工夫もしている。		入居者の体調・気分を考慮した対応がなされています。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩等の外出の機会を確保している。また、花作りや家庭菜園等の戸外活動も行っている。		外出の機会を増やして欲しいとの声もあるので、再度希望を確認してみてもどうか。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠は入居者の自由を奪う身体拘束であるという考えから、夜間と入浴時間以外は施錠していない。		今後も同じ体制で取り組んでいただきたい。

グループホームなしの郷【千葉県】

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>施設が新しく、防火体制や避難用のすべり台などハード面では問題がない。</p>		<p>台所の良器棚・冷蔵庫が固定されており、地震が起きた場合が心配。テレビなどの固定がありませんでした。</p> <p>飲料水は備蓄しているようですがそれ以外の備蓄も検討が必要と感じました。</p> <p>また、隣接する医療機関には災害時に多数の被災者が殺到すると思われるがその中</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>本人に合った食事内容と栄養バランス、嗜好に配慮し、1日に必要な食事及び水分摂取量を確保している。</p>		<p>適切な支援が行なえる環境が整備されています。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、表示物も分かりやすく入居者の目線でなされている。</p> <p>入口ロビーには季節の演出がなされている。</p> <p>また、日課の散歩では外気に触れ移り行く季節を感じる配慮がされている。</p>		<p>適切な支援が行なえる環境が整備されています。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は個人の好み反映され、個性あふれる居室になっている。施設の都合や職員の都合上の制限もなく、「自分の居場所」が確保されている。</p>		<p>入居者及び家族の希望が反映されています。</p>

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。